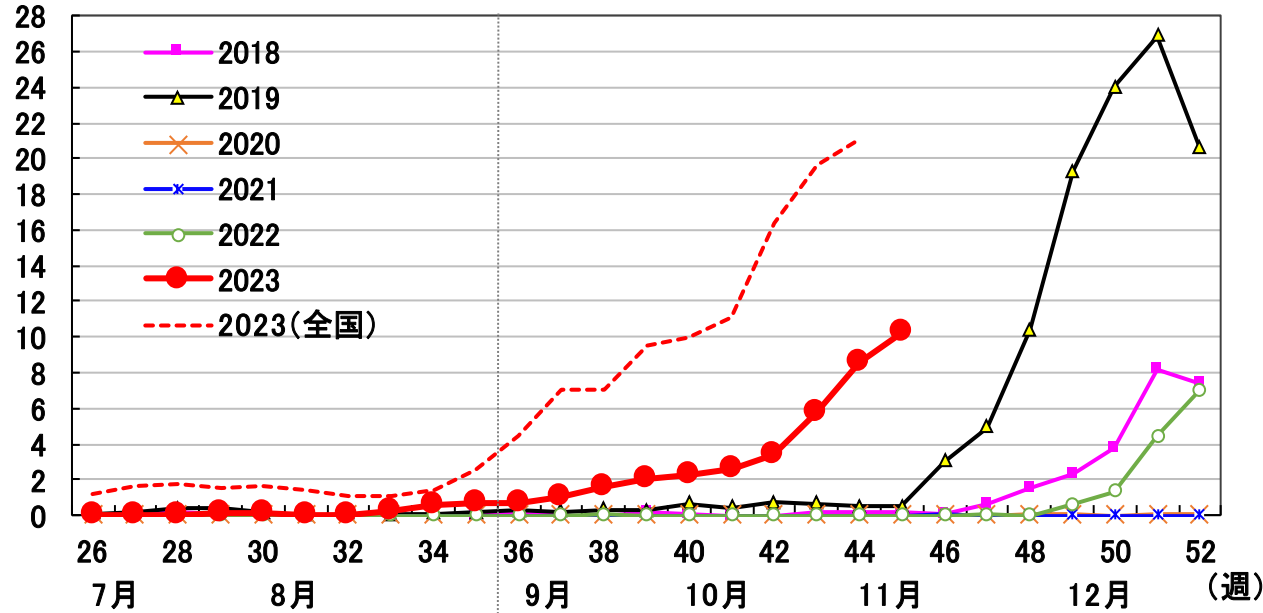


インフルエンザの発生状況(富山県)

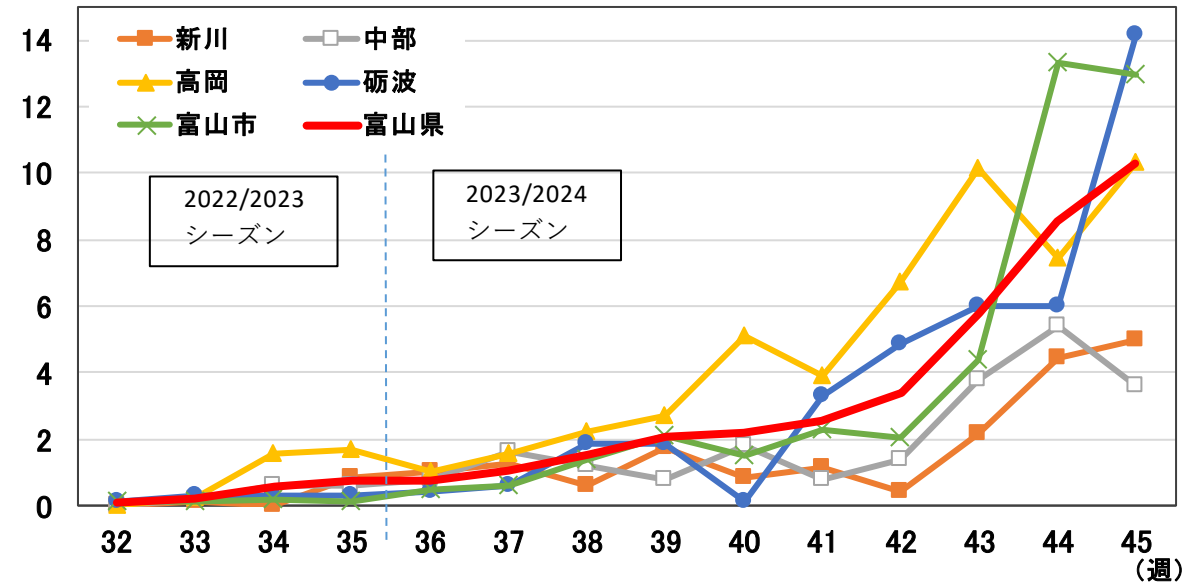
【第45週(2023/11/6~11/12) 感染症発生動向調査速報値 (2023/11/15時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数は今週（第45週）10.27人/定点となり、注意報レベルの目安である10人/定点を超えた。
- 厚生センター・保健所別に見ると（図2）、高岡、砺波管内で先週より増加した。特に砺波管内では今週14.14人/定点となり、先週（6.00人/定点）から大幅に増加した。高岡、砺波、富山市管内では注意報レベルの目安である10人/定点を超えた。

※第43、44週報告数に修正有り。

図3. 年代別割合(富山県、第45週)

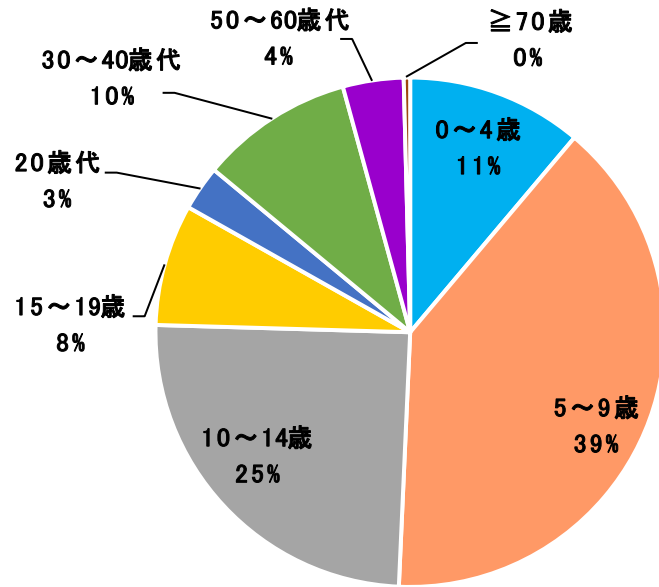
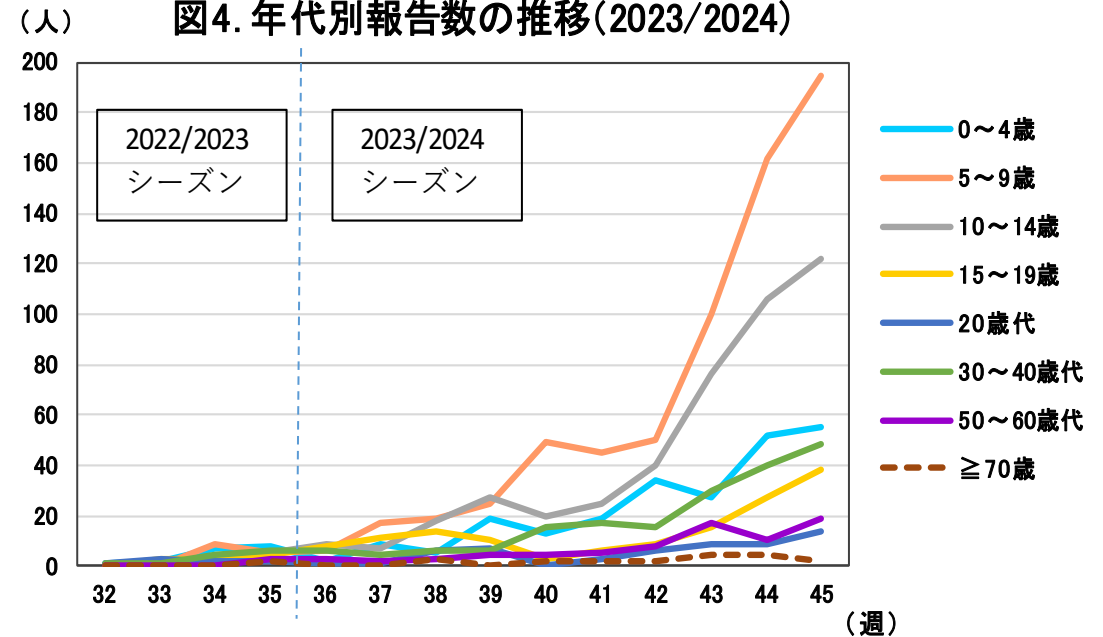


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第45週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が75%を占め、中でも5~9歳が全体の39%を占めた。
- 年代別報告数の推移（図4）では、5~9歳（橙）、10~14歳（グレー）で先週に引き続き増加した。また、30~40歳代（緑）、15~19歳（黄）においても増加が継続している。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第45週に8施設（小学校5施設、中学校2施設、高等学校1施設）で報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP：<https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第44週)

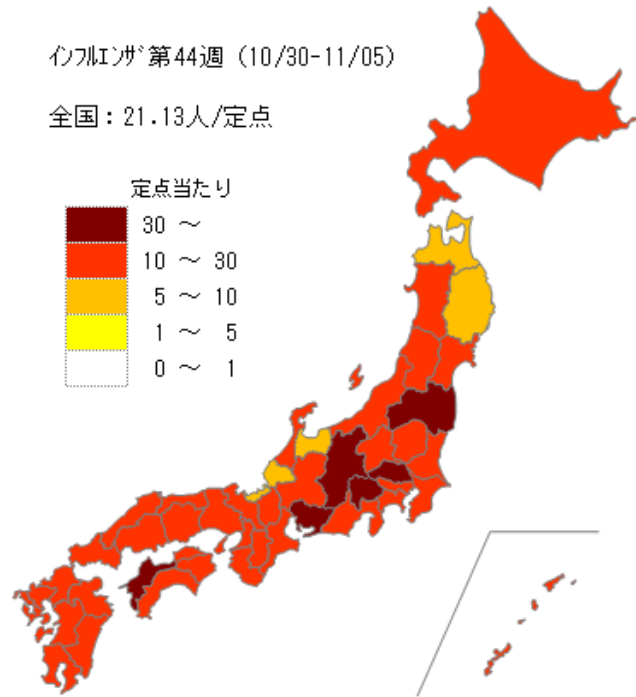
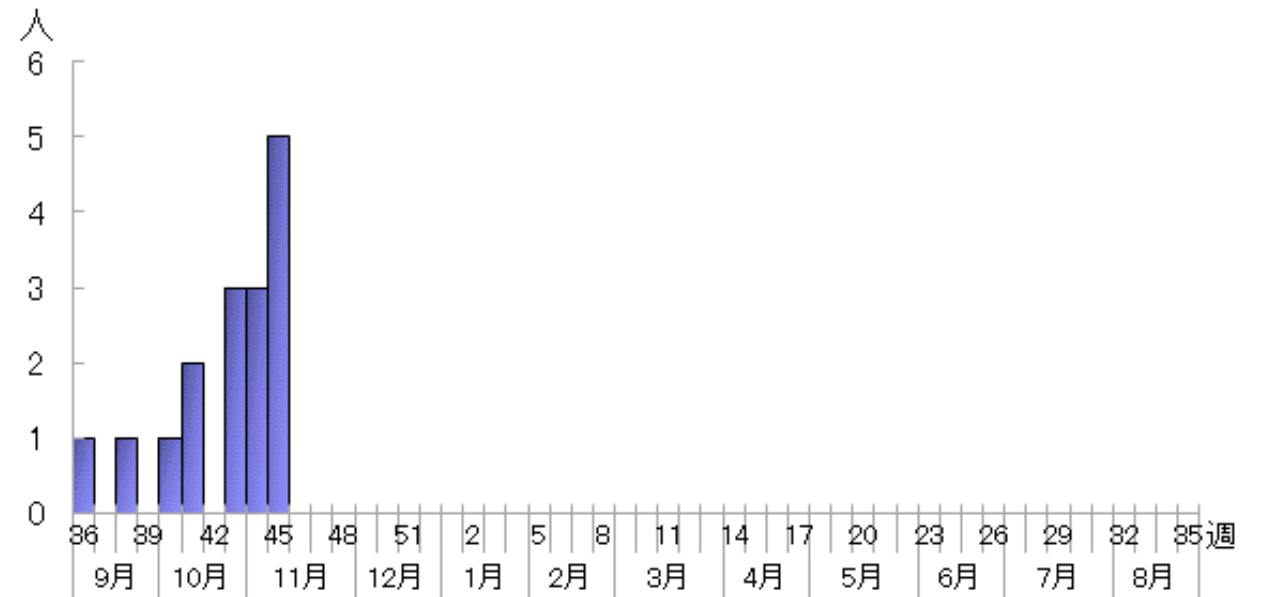


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第45週)



- 全国では第44週に21.13人/定点となり、第43週（19.68）から更に増加した。都道府県別（図5）では、43都道府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。また、その内6県で警報レベルの目安である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第45週に5例の報告（10歳代：1例、40歳代：1例、70歳代：1例、80歳代：2例）があった。
- 今シーズンは、例年より早期にインフルエンザの流行が認められた。患者数の増加傾向が続いており、今後の発生動向を注視する必要がある。